

令和元年度 徳島県男女共同参画交流センター運営委員会議事録

- 1 日 時 令和元年6月21日(金)13:30～15:00
- 2 場 所 ときわプラザ2階 学習室
- 3 出席者  
委 員 阿部頼孝, 大寺禮子, 中 央子, 中野由梨, 藤岡梨沙,  
三石昇太郎, 山田 憲  
事務局 男女共同参画交流センター所長, 男女参画・人権課長ほか

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 委員長・副委員長の選任
- (4) 議事
  - 1) 事業実施状況について  
平成30年度事業実績, 令和元年度事業計画
  - 2) その他

【事務局から資料等の説明】

【質疑概要】

委員 令和元年度に新しく導入したものはあるのか。

事務局 第4次計画がまもなく策定される。いろいろな有識者の方にご意見をいただいて新たな視点で設けたものは入れていきたい。具体的には、人材発掘・育成、リカレント教育の充実、働き方改革も国に基づいた多様で柔軟な働き方、SDGs を視野に入れた施策、ダイバーシティ、貧困・暴力など弱者を守っていく体制整備、防災活動など女性の視点が欠かせない。この視点を踏まえた講座、センターが実施する講座はもちろんだが、企画委託事業のテーマにも入れて募集をかけた。スクラップアンドビルドで新しい視点のものは重点的にやっていきたいと考えている。

委員 相談室の状況で、相談に来た人がどこか関係機関につながるような仕組み、制度が整っているのがひとつ、面接相談の男性16件、複数の人が利用しているのか。男性の面接が女性の比率として3分の1、業務の都合もあると思うが、男性が多いなら、月1回を2回に増やすとか考えているのか。

事務局 相談業務の現状として、非常勤2名が交替で行っている。ほかにも専門分野の窓口があるが、こちらでは広く傾聴し、専門の所へつないでいくのが役割と考えている。連携としては、毎年、県警や中央こども女性相談センターなど関係者の協議会があり、常に情報交換し、連携をとっている。男性相談は男性の相談員で、男性に特化した窓口としては貴重な窓口になっている。平成30年度は、1人の方が毎回来るという状況があり、実

人員にすると少ない。開設当初件数が多く、来月再来月に予約が回ることもあったが、去年は待たせることもなく需要と供給のバランスがうまくいってる。必要であれば回数を増やすなど状況を見て検討する。

委員 3ページのフューチャーアカデミーは、女性の参画を広げるとというのが趣旨だったと思うが、今年度審議会に入った実績はあるのか。

事務局 修了者が25名。市町村に参画している方もいるかもしれないが、県は3名。

委員 広報の数が少ない。若い世代はフェイスブックを通して情報を拾う方が多い。フェイスブックのページを周知する取り組みがあるのか。ネーミング「ときわプラザ」との関連がわかりにくいと感じた。図書のコーナーを利用する際に、川側の駐車場を使ってもいいと知らない方がいる。速やかな返却のためにポストの設置を検討したらどうか。施設の利用でw i - F iがあれば利用しやすい。予約状況も確認できたら、使いやすい。子ども室について、お子さんがある家庭にはありがたいが、1歳未満は預けられないので、参加をためらうこともある。ベビーシッターを外注した場合にどこかの部屋を使えるのか。低学年の子どもが何時間も留守番をするのは難しい。そういう要望も柔軟に対応してほしい。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。

フェイスブックの利用者の伸びが少ない。周知の面もあるが、システムの具合も悪く、メンテの必要もある。若い世代には有効な手段であり、懸案事項の一つである。重点的に周知していかないといけないと思っている。ネーミングは、「ときわプラザ」とつながりがわかりにくいところもある、今後検討していけたら。図書は、会員登録の際に、駐車場の案内をしている。引き続き広報したい。返却ポストは今はない。あった方がいいと考えており、今後検討したい。w i - F iは、講座の場合に範囲が絞られるなど、不便をかけている。常に使いやすいよう今後機能強化で要望するよう考えている。予約状況は、県や団体などにご利用いただく中で、不便のない状況でできるのか。機能強化の中で併せて考えていけたらと思う。

事務局 現在は就学前のお子様。乳児は当月で1歳になる場合預かっている。環境が変わるとお子様も不安になる場合がある。年1回モニタリング調査をしているが、小学生の要望が増えているので、受け入れ体制を整えば受け入れできるかと思う。シッターは部屋を借りてということになると人員の配置との関係もあるので現状では見合わせてというのが現状。

委員 令和元年度の計画案。お出かけシネマは、どうやって行われているのか。相談は、その他が多いが、その他の内容がわかれば聞かせてほしい。4次計画は県議会が終わってからのことでもいいのか。相談は連携ができていいのか。民間のNPOと連携はできないのか。それぞれにやっていて、つながっていけないところがはがゆい。県が中心になって、できないか。図書関係は、あいポートの貸し出しがかなり減少しているのが気になっ

た。地域リーダー養成講座が、去年も今年も行われていない。

事務局 おでかけシネマは主催事業。夏、冬、春の長期休みに子どもや一般向けに実施している。エコの推進も含めて、家族のコミュニケーションと節電を含めて行っている。相談事業のその他は、たとえば、面接の受付、問い合わせなどが入っている。第4次の計画は、6月議会で議決されると正式となる。骨子が決まれば先取りして、講座に取り入れている。相談業務の連携は、いろんな機関が集まって取り組むべきもの。連携が大事。たとえばDVでは民間団体にも参加してもらったり、部門ごとに会を行っているが、不十分なところもあって事件も増加しているのでさらなる連携が必要と思っている。あいポートの図書は、「センター」と「あいポートのフレア文庫」で行っている。貸し出し数は減っている。購入冊数が減っているわけではないので、ニーズもとらえながら広報する必要があると感じている。地域リーダー養成講座は、地域で活躍するリーダーを養成するため1年に2市町村において、防災など男女共同参画の分野で、市町村の職員、一般の方も含めて講座を開いてもらって養成していく。今年度もする予定としている。

事務局 第4次の計画は、女性の基本計画は、議会の議決を受ける必要がある。決まるのは、7月中旬となる。

委員 何に対して力を入れた結果かは書かないのか。たとえば推進事業は20万予算が増えてきている。

事務局 通常予算で大きな変更はない。6月補正で、機能強化に着手する予算を計上している。

委員 フューチャーアカデミーの役割を期待している。フューチャーアカデミーの修了者のような社会的な役職はないが、本当に県民のニーズを発信できる人が非常に大きい。ぜひ続けてほしい。

事務局 本日は長時間、お忙しいところありがとうございます。  
貴重なご意見は、参考にさせていただいて、職員一同頑張っ参りますので、皆様方のご指導をお願いしたい。